

◎ 議会だより



主な内容

12月定例会開催	P2～
議案賛否一覧表	P4
町政を問う 一般質問	P5～
委員会研修視察報告	P7～
平成29年度予算要望	P11
議会トピックス・編集後記	P12

会を開催

平成28年第4回定例会を12月6日（火）～8日（木）までの日程で開催しました。

諮問1件、平成28年度の一般会計並びに3つの特別会計の補正予算を含む議案16件について慎重審議し、原案のとおり可決しました。

一般質問には、4人の議員が登壇し、就学助成制度の充実、公共施設の整備、学校教育における子どもの人権、定住促進政策などについて質問しました。

詳しくは、会議録（町図書館）または、町ホームページ内の議会インターネット中継のページをご覧ください。

平成28年度 一般会計・特別会計補正予算を審議

□ 一般会計補正予算

執行部より、平成28年度一般会計予算総額に21億400万円を追加して、13億2689万円にしたいとの提案がありました。

主な増額内容

- ・町発足60周年事業 72万2千円
- ・障害者育成事業 32万4千円
- ・障害者自立支援事業 1446万1千円
- ・保育園管理運営費 324万7千円
- ・児童館管理運営事業 64万円
- ・森林病虫害防除対策事業 89万7千円
- ・企業支援事業 1510万円
- ・道路新設改良事業 453万6千円
- ・都市計画道路事業費 210万円
- ・非常備消防事業 108万1千円
- ・幼稚園・認定こども園施設型給付費支給事業 3887万円

・図書館管理運営費 101万3千円

□ 特別会計補正予算

執行部より、平成28年度特別会計予算（国民健康保険事業、介護保険事業、下水道事業）の補正を行ったとの提案がありました。

【国民健康保険事業特別会計】

予算総額に、2億7213万6千円を追加して総額49億5823万2千円とする。

主な増額内容

- ・一般被保険者療養給付費 2億2007万3千円
- ・一般保険者高額療養費 7087万1千円
- ・高額医療費拠出金 3001万8千円

主な減額内容

- ・後期高齢者支援金 3092万8千円
- ・介護納付金 2220万6千円

【介護保険事業特別会計】

予算総額に、467万5

千円を追加して総額23億3849万7千円とする。

主な増額内容

- ・総務管理費 467万5千円

【下水道事業特別会計】

予算総額に、747万8千円を追加して総額7億8319万6千円とする。

主な増額内容

- ・公共下水道費 897万3千円

主な減額内容

- ・総務管理費 149万5千円

以上の内容について、慎重審議の結果、全員賛成で可決されました。



12月定例

質疑（議案61号）

Q 国の法改正で、農業委員の選出は市町村長の任命制に変わりました。任命に当たっては、①議会の同意を必要とすること ②農業者等から候補者の推薦及び募集を行うこと ③候補者が定数を超えた場合は、関係者から意見を聞き、任命過程の公平性及び透明性を確保することなどの要件が課せられています。

構成については、委員の半数以上を認定農業委員が占めること、農業者以外で中立の立場の人と女性や青年を積極的に登用すること、以上の点を尊重し、農業委員の選出は、町全体及び各地域の農業と農地を守ることに由来する人を任命、選出していただきたいと思っております。

A 地域の意見を重視し、女性についても積極的に登用したいと思えます。特に公平、公正性に欠けないように取り組んでいきたいと思えます。

質疑（議案67号）



Q 高校卒業、18歳までの医療費支給について今回は、入院費のみの支給であります。一般質問で「近い将来、入院も通院も実施できるよう努力します」という町長のこのころ強い答弁を、私は今も信じています。

財源は、国の予算を活用した制度を機敏に応募、対応するなど、近い将来、入院通院ともに医療費支給の完全実施が提案されることを期待しています。本町の財政力であれば財源は可能です。

質疑（議案73号）

A 現在、財政的には非常に恵まれているので前向きに検討をしています。近い将来、国もいい回答を出すと思えますので町もしっかりと取り組んでいきたいと思えます。



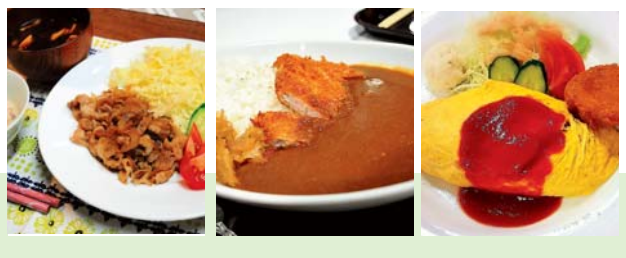
Q 子ども食堂の開設について今回は月1回1か所を3回分予算計上してありますが、来年度からは、今回の経験を生かして地域で支える子ども食堂になるよう民間の協力や場所の確保等に力をいれていただき、月2回以上、開設場所

については、せめて小学校区単位の4か所で実施していただきたいと思えます。

A 今回は試行的ということとです。

館林市の子ども食堂を視察に行つて来ました。非常に多くの方がたが利用されて、子ども居場所のひとつとして評価をしています。

今後は、各学校区に設けていきたいというふうに考えています。回数も少し増やすなど検討していきたいと思えます。



12月定例会を開催

平成28年第4回大泉町議会定例会 会議結果及び議案等関係賛否一覧表

			議席番号														採決結果	
			1	2	3	4	5	6	8	9	10	11	12	13	14			
議案名	議員名		河内初光	金谷勝美	都丸裕史	川島定夫	須田敏彦	浅野正己	宮永万里子	田邊信雄	津久井明人	渡邊明	青木満彦	森昌彦	金井茂夫			
諮問	第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	全員
議案	第61号	大泉町農業委員会の委員等の定数を定める条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	全員
	第62号	大泉町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	全員
	第63号	大泉町特別職の職員の期末手当の支給に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	全員
	第64号	大泉町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	全員
	第65号	大泉町町税条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	全員
	第66号	大泉町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	全員
	第67号	大泉町福祉医療費支給に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	全員
	第68号	太田市外三町広域清掃組合の規約変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	全員
	第69号	指定管理者の指定について（大泉町地域活動支援センター及び大泉町心身障害者等デイサービスセンター）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	全員
	第70号	指定管理者の指定について（大泉町有料公園施設（運動施設）及び大泉町社会体育施設）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	全員
	第71号	指定管理者の指定について（大泉町文化むら）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	全員
	第72号	大泉町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	全員
	第73号	平成28年度大泉町一般会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	全員
	第74号	平成28年度大泉町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	全員
	第75号	平成28年度大泉町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	全員
	第76号	平成28年度大泉町下水道事業特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	全員

※「○」＝賛成（起立）、「●」＝反対、「―」＝欠席または不在

※議長は、採決に加わっていないため、「／」で表示

※採決結果の「全員」および「多数」は、可決成立（同意）を表す。「少数」は、否決不成立（不同意）を表す。

町政を問う



楽しい学校生活を！

- ① 幼稚園及び保育園の保育料を助成し、保護者の負担軽減を
- ② 小・中学校の「就学助成制度」の支給内容の見直しを
- ③ 「就学費助成金」の支給日を就学前に
- ④ 支給対象者の認定はすべての子どもがお金のことを中心配することなく学校教育が受けられるよう特別の配慮を
- ⑤ 食育の立場を守り、給食



渡邊 明 議員

A 町独自の支援策を検討します

Q 各種「就学助成制度」の更なる充実を

- 費完全無料化を
- ⑥ 高校生向け「給付型奨学金支給制度」の導入を
- ⑦ 「大学合格祝い金支給制度」の創設を

町長

- ① 町の財政が豊かになった時は更に補助したいと思っています
- ② 生徒会費、PTA会費を町単独で支給したいと思っています
- ③ 来年度から、3月に支給できるように努めます
- ④ 何らかの救済するような策をきめ細かく考えていきます
- ⑤ 補助額を増やすか、給食を充実させるか前向きに検討します
- ⑥ 町単独として早急に何らかの支援策を打ち出したと思います
- ⑦ 国の動向と町の財政的な部分を検討しながら調査研究します



宮永万里子 議員

A 地域の方がたの意見を聴いて取り組んでいきたい

Q 公共施設の整備を

町長

聞きします

文化むらの展示ホールや町公民館、図書館等に行きますと、時間帯にはよりますが、児童・生徒が勉強している姿をよく見かけます。

西地区はこれから人口が増える地区です。確かに西地区には公共施設がありません。今後は町民ニーズ、特に地域の方の意見を聞きながらしっかりと取り組んでいきたいと考えています。

しかしながら、西地区にはそれらの児童・生徒が利用できるような施設がありません。若い世代を中心とした住宅が増え西地区の児童・生徒の数は飛躍的に増えているのに、児童・生徒に必要な施設が無いという、誠に残念な結果となっています。

西地区の児童生徒の置かれている状況、現状をご理解いただき、予習・復習などが出来る、学習補助施設にも利用できるような施設をぜひ西地区に作っていただきたい町長のお考えをお



児童、生徒が集える施設を

町政を問う



子ども達に明るい未来と希望を

Q 学校教育現場での人権対策を

A 人権擁護条例を制定し対応します



金谷勝美 議員

①インクルーシブ教育（多

様性の尊重）による人権対策について、個別の教育的ニーズのある児童・生徒に対して、自立と社会参加を見据えて、その時点で教育的ニーズに最も確にこたえる指導を提供し、多様で柔軟な仕組みを整備する事が重要ですが、今後の様に進めていきますか

②LGBT（性的マイノリ

ティ）に対する教育現場での人権対策について、子ども達が思い悩み自ら尊い命を絶つような事案が絶対におきない仕組みづくりをどの様に進めますか

教育長

①障害のある者と障害のない者が、可能な限り一緒に学んでいくインクルーシブ教育は、国や県の指導のもと進めて行きます。また、本町で現在取り組んでいる特別支援教育の充実を図ることが大切であると考えます

町長

②来年、本町は町制60周年を迎えるのを機に、県内初の「人権擁護条例」を制定し、全ての人権問題に対応していきます



空き家を利活用して町に賑わいを

Q 定住促進優遇制度の導入を

A 導入に向けて検討を行います



都丸裕史 議員

本町において直接、移住定住に結びつけられる優遇制度の導入として、空き家を利活用できる制度の提案をします。まず、空き家バンクを創設してマッチングの場の提供をつくり、購入、賃貸希望者には固定資産税

や家賃を、所有者にはハウスクリーニング等を助成する制度を創設する事により、空き家の利活用に関わるのではないのでしょうか。また、制度利用の条件として町内事業者やシルバー人材センター等の活用も盛り込めば、町内活性化にも繋がると思いますが町長の見解を伺います。

町長

空き家バンクおよび有効活用については、町職員や私自身が先進地に赴き勉強してきました。その中には空き家をうまく有効利用したモデル的場所もあり、今後活かしていきたいと考えています。また、議員提案の制度利用時の町内事業者やシルバー人材センターの活用については働く場を提供できて、町内活性化につながられると考えています。

総務文教常任委員会

ぬくもり溢れる場所を

平成 28 年 7 月 12 日～ 14 日

- ①山口県防府市 防災行政無線のテレフォンサービスについて
- ②山口県山口市 やまぐち協働のまちづくりについて
- ③山口県山陽小野田市 放課後子ども教室の実施状況について

※ここでは山口県山陽小野田市の放課後子ども教室について報告します。



【目的】

国が「放課後子どもプラン」を策定し、児童の放課後の居場所づくりを設置するよう地方自治体へ義務づけたことにより、山口県山陽小野田市はこども福祉課の「児童クラブ」（学童保育）事業と教育委員会社会教育課と連携して「放課後子ども教室」事業に取り組みました。山口県版「地域協育ネット」事業と市の「次世代育成支援対策行動計画」の中で、平成 24 年度より「放課後子ども教室」事業がスタートさせました。この取組み内容について先進地の研修視察を実施しました。

【研修視察を終えて】

「放課後子ども教室」の事業は、放課後の子ども達の居場所づくりと共に、ボランティアやコーディネーターの高校生・大人とのかわり体験学習を通じて、健やかな子ども達を育成し、成長する上で基礎が培われる大切な事業です。

子ども達が安全に過ごせる公園、校庭の一部や公共施設の会議室など、利用可能な場所から出発しています。指導員は、情熱と愛情そして笑顔が一番、のびのびと生活させることの大切さも学びました。



民生産業常任委員会

子育て応援施策 11 の鍵

平成 28 年 11 月 12 日～14 日

- ①兵庫県たつの市 認知症支援事業について
- ②兵庫県相生市 子育て応援事業について
- ③兵庫県高砂市 高砂市にここポイント制度について

※ここでは兵庫県相生市の子育て応援事業について報告します。

【目的】

委員会における所管事項のうち、当面する課題について先進地の実情を調査・視察し見聞を広めるとともに、その成果を議会の調査資料としてまとめ、有効に活用して適切な企画と事業の推進に資することを目的としています。

兵庫県相生市の【子育て応援施策11の鍵】

- ①新婚世帯家賃補助制度
- ②定住者住宅取得奨励金
- ③マタニティータクシークーポン交付
- ④出産祝金支給
- ⑤こども医療費助成
- ⑥子育て応援券交付
- ⑦保育料軽減事業
- ⑧私立幼稚園預かり保育事業
- ⑨給食費無料化
- ⑩相生っ子学び塾事業
- ⑪ワンピース・イングリッシュ事業



【研修視察を終えて】

相生市の最大の目的は定住者の増加であり、住宅を新築または購入し定住する場所として相生市を選ぶ理由として、教育・子育て支援及び住宅取得助成のみではなく、住環境や交通の利便性などの要素も大きいと考えられます。よって、PRと継続が必要です。近年の社会経済状況の低迷による影響により財政状況についても、時代の流れとともに、変化しています。本町でも少子高齢化は喫緊の課題であり、相生市の研修は大変に参考になりました。人口ビジョンの推計に減少が明記されています。本町の立地を考えると、企業誘致を進めて来ましたが、町民の定住化に重点を置き、子育て支援を優先しながら高齢者支援を提言していきます。委員会として、福祉の増進をめざしていきます。



議会運営委員会

上田市の議会運営について

平成 28 年 8 月 4 日～5 日

- ①長野県須坂市 議会運営について
- ②長野県上田市 議会運営について

※ここでは長野県上田市の議会運営について報告します。

【目的】

委員会における所管事項のうち、当面する課題について先進地の実情を調査研究して見聞を広め、かつ十分に研究した成果を議会の調査資料としてまとめ、有効に活用して適切なる企画と事業の推進に資することを目的としています。

議会運営について

- ①議会機能強化特別委員会について
- ②議会広報モニターについて
- ③議会報告会について
- ④自由討議（議員間討議）、慣例集（運営基準）について



【研修視察を終えて】

議会機能強化特別委員会については、本町の「議会改革調査特別委員会」とは異なり、基本条例制定後もその目的が達成できているかを検証する委員会であり、必要に応じて見直しを行うということです。

議会報告会については、ほぼ大泉町と同様な方法をとっており、平成23年から27年まで、5会場自治会と連携して行ったということです。

大切なことは議員一人一人が、その役目を誠実に果たすということであり、当然のことであるということ再認識させられました。大泉町議会運営委員会としても早期具現化に向けて頑張りたいと思います。



議会改革調査特別委員会

議員研修の充実に向けて

平成 28 年 8 月 10 日

長野県軽井沢町

◎議員研修について



【目的】

議会改革調査特別委員会は、議員の資質向上のための議員研修について、先進地の議会として知られている軽井沢町議会を視察することにより現在、当委員会を取り組んでいる議会改革での議員研修について、参考とし一層の推進を図ることを目的とします。

【研修視察を終えて】

検討委員会では通年議会の実施、議会基本条例の制定、予算・決算委員会の設置など多くの議会改革の検討を続け「議員の研修条例」を制定し「研修の義務化」も条例制定に至っています。

実施計画では①無料や安価で受講できる研修②新人議員・ベテラン議員も基礎を学び直す工夫③全議員を対象とした議員必携での研修④新人の即戦力化とベテラン議員のマンネリ化防止策など議会内で出来る対応でした。今回の研修を通して大泉町議会にも研修条例の必要性を感じます。

広域事業調査特別委員会

町民の生活のために

平成 28 年 10 月 19 日

秩父広域市町村圏組合

◎秩父広域市町村圏組合の概要について

◎ゴミ袋の価格引き下げについて

◎水道の広域化について



【目的】

委員会への付託事項について先進地の実情を調査視察して見聞を広め、かつ十分に研究した成果を議会の調査資料としてまとめ、有効に活用して適切な企画と事業の推進に資することを目的とします。

【研修視察を終えて】

有料指定ごみ袋制度は、廃棄物の増加対応や合理的な処理体制の確立等の理由から導入しましたが、収集量は減りつつも持ち込み量が増えている状況です。しかし住民意識の変化はあったと分析でき、組合としても指定ごみ袋の種類を増やし、住民要望に極力応えようとする姿勢は見習いたいと思います。

水道事業は本町と同時に広域化され、料金の見直しや水道工事の負担分岐の考え方など、東部水道企業団と同様今後の検討課題として残されており、どの様に議論していくのか注視していきたいと考えています。

平成29年度 予算要望

平成28年11月14日 村山町長に提出

議会全体要望

1. 全協室に卓上型マイクを設置すること
2. 全協室のイス・テーブルを新規入れ替えること
3. 「防災服（上・下）」の貸与を検討すること
4. 傍聴者の利便性向上のため、環境改善や施設の整備を図ること
5. 常任委員会の研修視察への職員の同行を検討すること



総務文教常任委員会

- 1、行財政の改革を積極的に推進するとともに、収納率向上と財政の健全化に努めること
- 2、安全・安心なまちづくりを推進すること
- 3、協働のまちづくりの充実を図ること
- 4、行政サービスの充実と公共交通の利便性向上に努めること
- 5、職員の健康管理と人材育成を推進すること
- 6、学校教育及び教育環境の充実を図ること
- 7、地域の教育力充実と地域文化・スポーツの振興に努めること

民生産業常任委員会

- 1、障がい者自立支援対策の推進・充実を図ること
- 2、高齢者支援対策の推進・充実を図ること
- 3、子育て支援及び少子化対策の推進・充実を図ること
- 4、健康づくりの推進と医療体制の充実を図ること
- 5、住民窓口業務のサービス改善向上を図ること
- 6、産業振興と観光振興に向け目標を立て積極的な取り組みを図ること
- 7、環境保全と環境衛生の整備を図ること
- 8、生活圏道路の整備及び側溝の新設改修を図ること
- 9、住環境の整備を強力に推進すること
- 10、公園施設の充実及び管理運営の徹底、都市計画事業の促進を図ること
- 11、公共下水道の整備を積極的に推進すること

議会トピックス

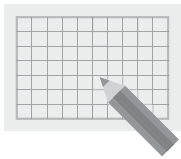
群馬県町村議会広報研修会



読みやすい議会広報を目指して

議会広報編集委員会は、平成28年11月22日に前橋市で開催された群馬県町村議会広報研修会に参加しました。

編集・出版アドバイザーの芳野政明氏から、「読まれ・伝わる議会広報へ」をテーマに、読みやすい議会広報を目指した企画・編集について学びました。愛読し続けてもらえるおおいずみ議会だよりになるよう、今後委員全員で努力していきます。



群馬県町村議会議員研修会



備えある災害対策とは

平成28年10月28日、群馬県町村議会議員研修会が吉岡町文化センターで開催されました。

防災システム研究所所長の山村武彦氏から「災害に強いまちづくり」、外交ジャーナリストであり作家の手嶋龍一氏から「動乱の21世紀を読み解く」について講演を受けました。

山村氏の講演では、災害からのちを守る準備と行動について実践的な防災の提案がありました。災害後の対処訓練ではなく、「火を消す訓練の前に、火を出さない訓練を」という災害予防訓練の重要性を再認識しました。

お知らせ

次回の定例会は

2月28日(火)

午前10時～

予定しています

お問い合わせ ☎ 63-3111
内線 412

みなさん議会傍聴に来てください

役場4階の議会傍聴受付にお越しください。

受付簿に住所・氏名・年齢をご記入いただくと傍聴できます。

議会日程は町ホームページでお知らせしています。

議会だより・会議録がホームページで見られます。

<http://www.town.oizumi.gunma.jp/>

編集後記

この広報が皆様のお手元に届く頃にはおとそ気分も抜けている事とは思いますが、改めて新年明けましておめでとございます。

地球温暖化の影響が異常気象が日本中あちこちでおきた昨年でした。自然の力にはさからえるはずもなく人間の無力を実感したものでした。ともあれ新年にむけて新たな抱負をもって進んでいきたいと思えます。我々広報編集委員も新たな気持ちで取り組んでまいりたいと思っております。本年も宜しくお願い致します。

宮永万里子

■議会だより文責

編集委員 金井茂夫

委員長 青木 満

副委員長 川島定夫

委員 宮永万里子

委員 河内初光

委員 金谷勝美

委員 都丸裕史

委員 須田敏彦



この広報紙は、自然保護のため再生紙とベジタブルインキを使用し作成しています。